

目 次

学生の「つどいの広場」におけるその活動と実施調査の報告 青 山 雅 哉・小 川 純 子・島 田 稲 子 (1)
多筋扇尾狒犬を受け継ぐ“泉屋勘兵衛” 磯 辺 ゆ う (11)
幼少期におけるゲーム経験とゲーム体験による疲労感との関係 高 岡 昌 子 (27)
幼稚園における「年中行事」の取扱いに関する一考察 —奈良県国公立幼稚園・こども園の実態調査から— 恒 岡 宗 司 (33)
預かり保育の在り方についての一考察 (4) —コーナー保育の方法的特性を生かした「実施プログラム」の作成— 恒 岡 宗 司・中 田 章 子 (55)
バスケットボールのより効果的な練習方法 —低身長チームの為に— V. 地域防御 永 保 司・大 畑 昌 己 (73)
保育者としての資質と保育実践能力に対する学生の意識について 林 悠 子・森 本 美 佐・東 村 知 子・高 橋 千 香 子 (91)
出生前診断に対する短期大学生の意識 —展開されるロジックと潜在する「妊娠－出産」観— 東 村 知 子 (101)
母子保健対策としての性教育 —思春期からの性教育の評価と課題— 森 本 美 佐 (113)
本学の子育て支援活動と学生教育との接続 森 本 美 佐・小 川 純 子・高 橋 千 香 子 (121)
保育者に必要な数学力についての基礎的研究 (2) 吉 田 明 史 (129)
芸術と教育 V —鑑賞教育のすすめとギャラリーの活用— 筒 井 通 子 (151)
現代スポーツを考える —日本のスポーツ事情— 岡 部 修 一・山 中 愛 美 (161)
幼児教育学科における英語学習 —保育英語と英語絵本— 昆 布 孝 子 (171)

紀要執筆要項

- 1、横書き和文原稿は46文字36行（A4 1656文字）、縦書き和文原稿は67文字25行（A4 1675文字）、英文原稿は横書き和文に準ずるものとする。
- 2、投稿できるのは、本学教員及び教授会で認めた者である。
- 3、原稿は他誌に未発表のものであること（学会口頭発表はこの限りにあらず）。他者の研究成果を引用する場合は、出典を明記すること。図表（楽譜を含む）はオリジナルであること。既発表の図表を改作した場合はそのことを明示し、そのまま引用する場合は著作権者の承諾を事前に受けること。図表、楽譜等を含め、原則仕上がり12ページ程度とする。ただし、英文原稿の和文題名以下（5参照）は投稿規程文字制限外とする。
- 4、原稿提出は、デジタルデータ（本文：ワード、一太郎、図表：エクセル、JPG、その他）に、印刷原稿1部をつけるものとする。

- 5、原稿記載の順序は以下のとおりである。

和文原稿：表題、著者名、著者所属、英文表題、英文著者名、英文所属、抄録、キーワード（5語以内 以下同じ）、本文、謝辞、引用文献、参考文献

英文原稿：表題、著者名、著者所属、抄録abstract、キーワード、本文、謝辞、引用文献、参考文献、和文題名、和文著者名、和文抄録

短期大学部所属の場合、著者所属を省くことができる。連名で投稿する場合は、氏名の後肩に番号を附し、その番号に基づき所属を記載すること。連絡先（著者名、郵便番号、住所、所属先）を1ページ目脚注に入れる。目次・CONTENTSにおいて、題名は、目次：原題表記、CONTENTS：すべて英文とする。

- 6、原稿表記は以下のとおりである。

和文句読点：「、。」または「. ,」。章・項目表記：順次 1.→ 1.1→1.1.1。

フォント：（目安）

（**和文原稿**）本文—明朝 10pt。タイトル・氏名—太明朝、タイトル 20pt（英 Times 15pt）、サブタイトル 14pt、氏名 14pt（英 Times 12pt）。各章・大項目タイトル—ゴチック 12pt、その前に2行、後に1行空ける。文献—ゴチック 8pt

（**英文原稿**）Times New Roman、タイトル 16pt、サブタイトル 14pt 氏名 14pt、大項目 12pt、本文・文献 10.5 pt

- 7、文献は引用順に番号をつけて記載する。本文中には右肩上付き番号^{1), 2)}として示し、文末に来る場合読点を最後とする 一例「・・・である¹⁾。」。文献表記は、原則執筆者の所属学会機関紙の様式に従うが、表記内容の順番は以下に準ずるものとする。

論文：著者名（発行年）タイトル名. 雑誌名. 巻・号：ページ.

単行本：著者名（発行年）タイトル名. 書名. ページ. 発行所.

参考文献を入れる場合は、別項目で、著者名のアルファベット順の表記とする。

- 8、図表には通し番号をつけ、本文中に引用する。図表を原稿本文中にあらかじめ挿入しておく場合、仕上りの形で挿入する。図の題名と説明は図下に表記する。別に提出する場合、挿入位置を、印刷原稿の右横欄外に赤で示し、仕上がりサイズを図表に示しておく。この場合、図の題名と説明は、別途一括して作成し原稿につけること。いずれの場合も表の題名は表の上に、注は下につけておくこと。図表の位置は、印刷の都合により移動することがあるので、本文中では移動できる表現をとっておくこと。図表として扱わず、本文の一部として扱う場合は通し番号を付けない。その場合途中でページ変更がありうるものとする。

平成27年10月31日印刷
平成27年11月1日発行

紀要 第46号

編集者 奈良学園大学奈良文化女子短期大学部
発行者

奈良市中登美ヶ丘3-15-1

発行所 奈良学園大学奈良文化女子短期大学部

電話 0742-93-5400番(代)

印刷所 株式会社 春日

奈良市三条栄町9-18

電話 0742-35-7222番